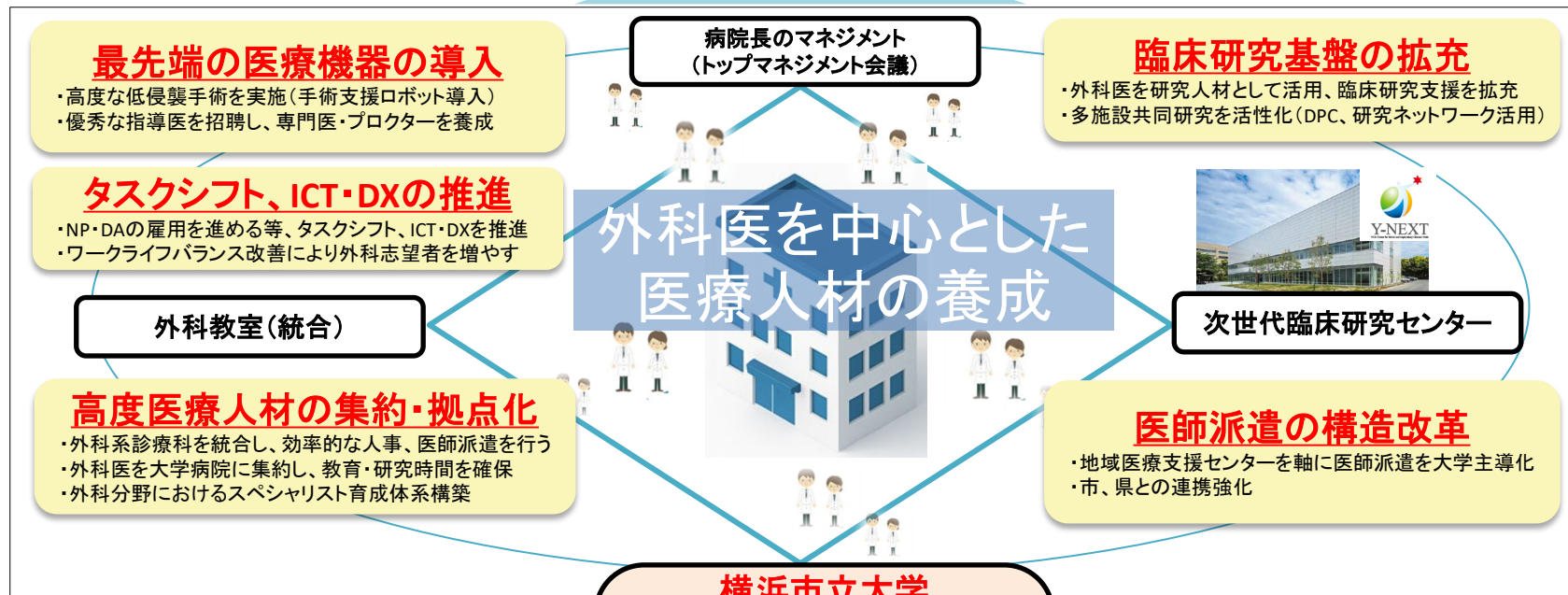


- 教育・研究力の向上（研究と臨床能力を併せ持つ外科医等育成）
- 地域医療提供体制の充実（地域医療支援センターを通じた医師派遣の最適化）



KPI: 令和11年度達成目標

高難度手術数 **8,000** 件

臨床研究審査数 **390** 件

寄附講座数 **3** 講座

ニーズのあるエリア



横浜市立大学
地域医療支援センター

連携プラットフォーム
県・県内4大学

県・地域医療機関

ニーズのあるエリア



KPI: 令和11年度達成目標

医師派遣数
(外科) **203** 名

医師派遣数
(全体) **2,220** 名

プロクター資格
を有する医師数 **39** 名

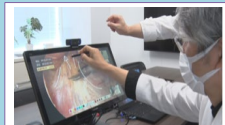
地域との連携による取組み



寄付講座



遠隔ICU



遠隔プロクターリング



横浜臨床研究ネットワーク



YCU医療経営・政策プログラム

現状

■ 神奈川県の外科学医数 (2022)
10万人あたり15.2人 全国**ワースト3位**

出典:厚生労働省「令和6年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」資料

■ 日本消化器外科学会 会員数
2043予測 20年後は…**50%減** (外科学医減)
→ **外科学医の養成は急務**

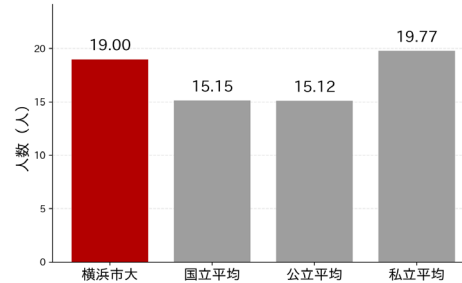


出典:日本消化器外科学会資料

■ 特定行為研修修了者数 (2024)
私立大学の修了者数が最も多く、タスクシフトが進んでいる。

横浜市大 修了者数 19人
→ 育成は進んでおり、**さらなる教育の充実が必要**

国立・公立・私立の平均との比較

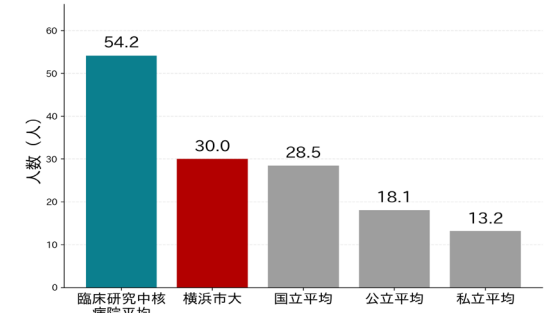


出典:全国医学部長病院長会議「医師の働き方改革に係るアンケート調査」

■ 臨床研究センター等の研究支援体制 (2024)
横浜市大 研究支援者数 30人

→ 臨床研究中核病院を目指すためには、**さらなる臨床研究体制の増強・人員配置が必要**

国立・公立・私立・臨床研究中核病院平均との比較



出典:全国医学部長病院長会議「医師の働き方改革に係るアンケート調査」

教育の充実

○ ロボット手術の教育強化

県内唯一のダヴィンチ3台体制のもと、幅広い手術手技を学べる環境を構築し、認定医やプロクターを養成。

○ 高難度手術の集約化

派遣先病院との連携により高難度手術を大学病院に集約化し、高い技術が必要な症例を多く経験できる環境を構築。スペシャリストとしての育成を推進。

○ 特定看護師・周麻酔看護師の育成

高度な臨床業務に関与できる機会増。

高度医療人材の養成

高度医療機器専門スタッフ



教育・研究機能の強化

臨床研究の推進

○ 高精度データ取得による研究基盤の強化

ロボット手術のデータを分析し、手術の最適化や客観的な評価を行うとともに、データサイエンス研究と連携し、有効な研究を推進。

○ 臨床研究支援体制の強化

大学病院への外科医師の集約化により、研究のマンパワーを増やすとともに、専門スタッフを増強し、先端的外科治療のエビデンス創出を推進。

○ 多施設共同研究の活性化

多施設の日常診療データを集積し、大規模研究によるエビデンスを創出。

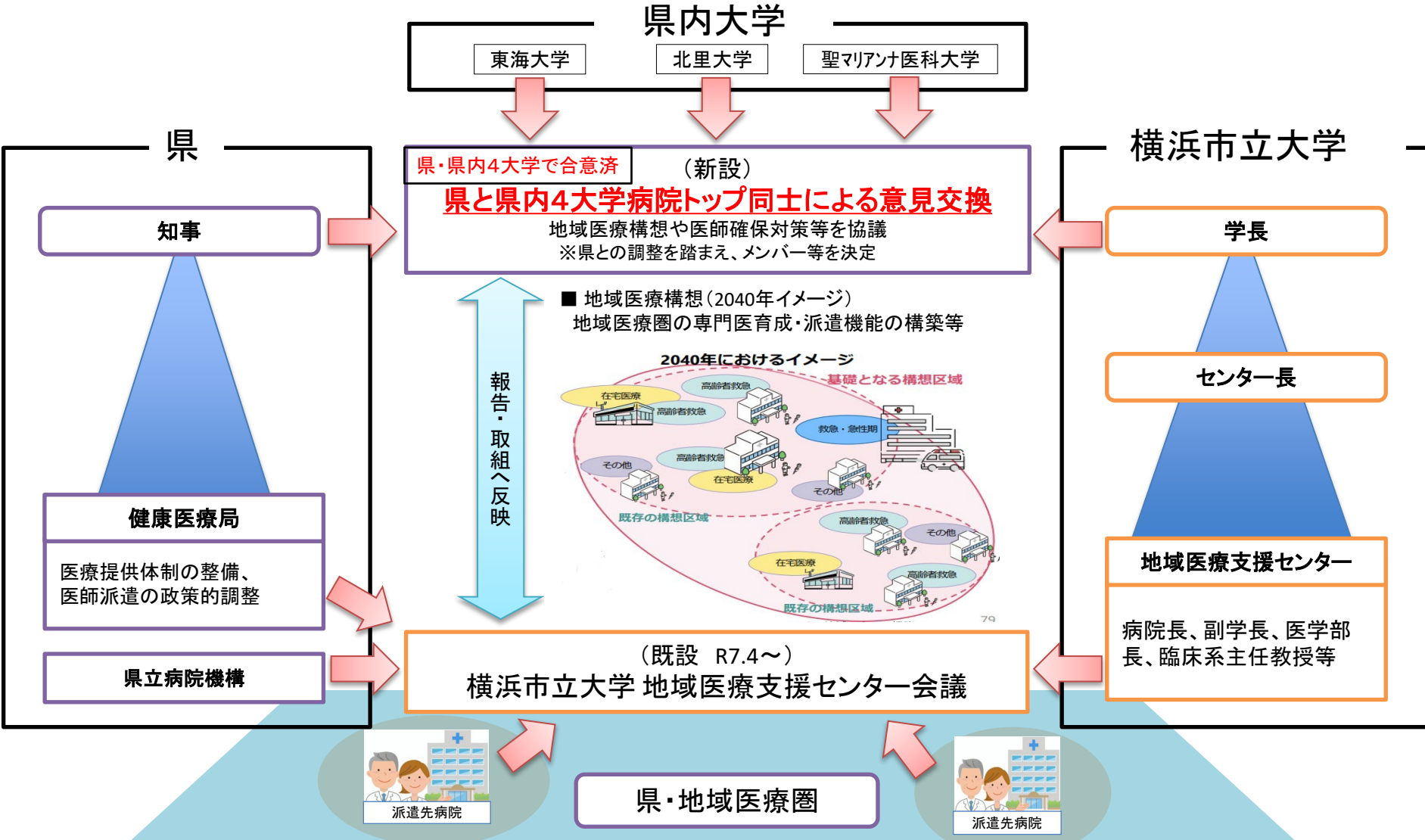
地域医療への貢献

養成された医療人材

臨床研究ネットワーク拡充

優秀な専門医の派遣、臨床研究実施数増

新たな地域医療構想に向けた 神奈川県との連携プラットフォーム(案)



< 横浜市立大学 地域医療支援センター会議 >

- 派遣先病院への医師の派遣調整等にかかる支援、県・市・医師会等との連携、調整を行う。
- 連携会議として、派遣先病院長を招聘し、課題共有、解決策の議論を行う。
- オブザーバーとして県担当職員へ参加依頼 → 必要に応じて、会議構成員として参画。
- 県と4大学病院連携プラットフォームへ会議内容を報告し協議された内容を取組へ反映。